

2024年度業務実績報告書

提出日 2025年 2月 6日

1. 職名・氏名 助教 岡原直人

2. 学位 学位 修士(経済学)、専門分野 マクロ経済学、授与機関 東北大学、授与年 2018

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 マクロ経済学Ⅰ(2単位, 1年生)	
②内容・ねらい マクロ経済学における総生産(GDP)の大きさについての考え方を学習する中で、経済理論の思考法に慣れ、経済への介入を提唱したケインズの考え方を理解することが目標である。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 オリジナルの配布資料を基に、通常の講義を行った。一般的なマクロ経済学の教科書では省略される古典派やマルクスの考え方も説明し、それらの対比としてケインズの考え方を示すことで、その重要なポイントが理解しやすくなるようにした。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 マクロ経済学Ⅱ(2単位, 1年生)	
②内容・ねらい 前期のマクロ経済学Ⅰの延長線として、ケインズ経済学の分析を学習する。分析の前提から結果が出るまでの流れと、そこにおける重要なポイントを自分の言葉で説明できるようになることが目標である。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 オリジナルの配布資料を基に、通常の講義を行った。分析の過程を丁寧に負いつつ、マネタリストや新古典派からの批判にも触れることで、ケインズ経済学の考え方における独自・特有の要素が理解しやすくなるようにした。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 外書講読(2単位, 2年生)	
②内容・ねらい とにかく英語への抵抗感を弱め、試験とは関係ないより日常的な行動として英語を読むことに慣れることを目指した。また、英語特有の言い回しや、英語の文章の構成に馴染むことも目標とした。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 テーマを経済学に限定せず、アメリカ大統領選などその週に起きた時事的な出来事についての英語の文章を用いることで、学生が文章の内容に興味を持ちやすいようにした。またその場で翻訳させることで、実際に訳す力が身につくようにした。	

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
オムニバス「経済学」（2 単位, 1 年生, 1/15 コマ）

②内容・ねらい

経済学の 1 分野としてのマクロ経済学ということで、学部におけるマクロ経済学の思考法とその主張の雰囲気をつかむことを目標とした。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

経済における介入の有効性というテーマで統一し、学部におけるマクロ経済学の主要な分析の問題意識と分析結果、そしてその結論が明確に伝わるようにした。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
経済学特講 C「行政のリアル」（2 単位, 2 年生）

②内容・ねらい

実際の行政に携わる方の話に基づいて学生が問題解決のための提案を検討するなかで、グループの学生たちが考え方をまとめる際にアドバイスをを行った。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

教員による誘導にならないように基本的には学生の主体性に任せつつ、適宜、現状の論点の整理や議論の向かう先の明確化を手助けした。また、学生たちがスライド作成に慣れていなかったために、基本的な報告スライドの構成については十分なアドバイスをを行った。

(2)その他の教育活動

内容

- ・ 藤島高校において、学問発見講座の講師として、「お金と豊かさの関係」というテーマで、90 分の講義を行った
- ・ 武生東高等学校において、探究学習に係わる外部アドバイザーとして、学生らの学習報告に対して、専門的知見からのコメントおよびアドバイスをを行った

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【0 本】
②学術論文（査読あり）	【0 本】
③その他論文（査読なし）	【0 本】
④学会発表等	【0 件】
⑤その他の公表実績	【0 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

[illegible]

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など